

第1回
行田らしいまち並みづくりと
にぎわい創出基本計画
検討委員会

2013年
11月8日（金）

説明資料

本日の流れ

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(1) 策定方針とスケジュールについて [資料①、②]

(2) 市民アンケート調査結果について [資料③]

(3) まち並みとにぎわいづくりに関する特性と課題について

[資料④]

(4) 景観まちづくりワークショップの概要について [資料⑤]

4. その他

5. 閉会

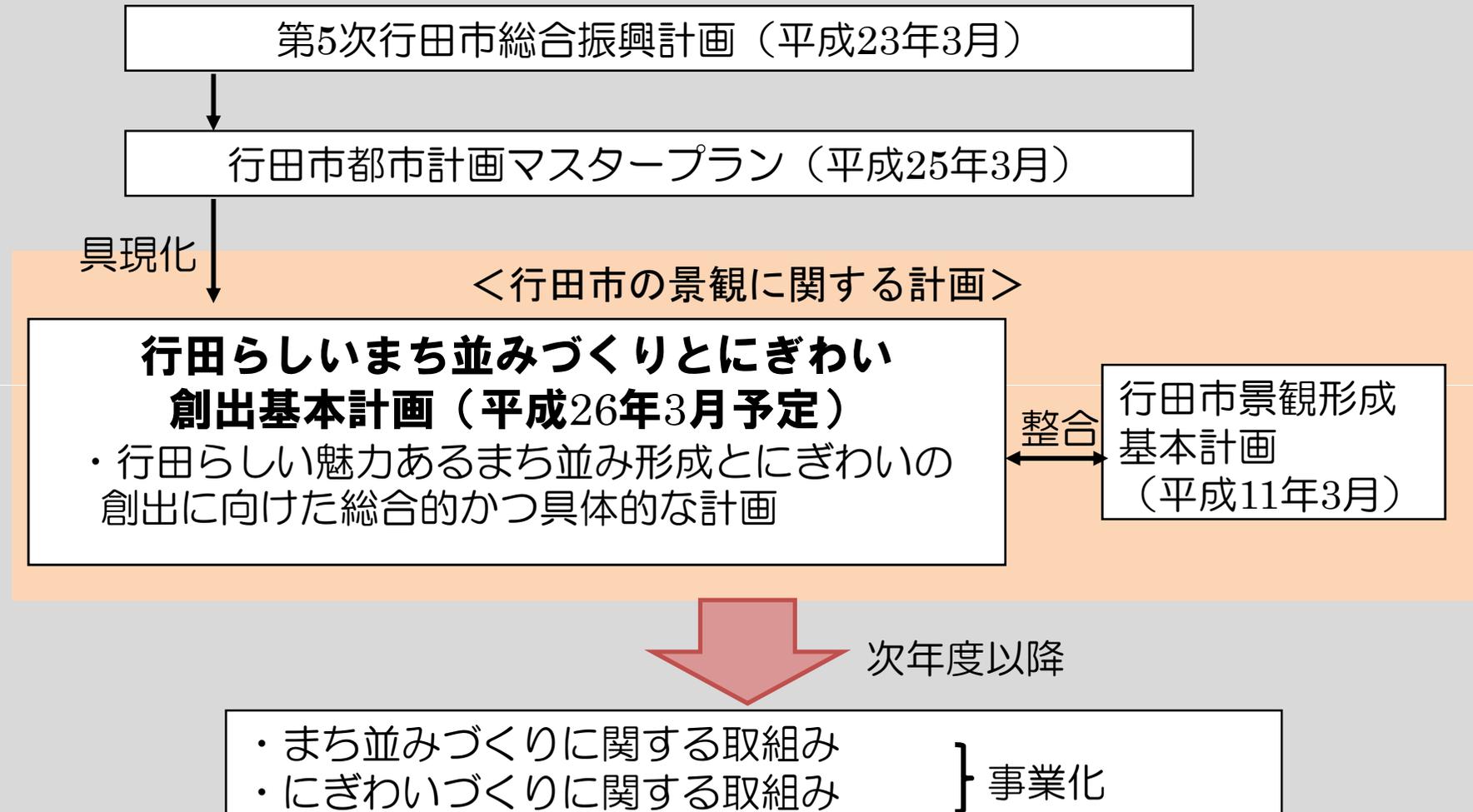
(1) 策定方針とスケジュールについて [資料①、②]

【計画書第1章関連】

1. 計画の背景と目的

- 平成25年3月策定の行田市都市計画マスタープランでは、「水と緑と歴史がおりなす 笑顔あふれるまち ぎょうだ」を将来都市像とし、重点施策たるリーディングプロジェクトを位置づけ、各施策をスタートしたところである。
- 本計画は、行田市景観形成基本計画との整合を図り、行田市都市計画マスタープランをまち並みや景観的な観点から具体化するとともに、**行田らしい魅力あるまち並み形成とにぎわいの創出に向けた総合的かつ具体的な計画**として策定することを目的。

2. 計画の位置づけ



3. 計画の策定体制

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会

- (構成)
- ・学識経験者
 - ・各種団体から推薦された者
 - ・関係行政機関又は埼玉県
 - ・公募市民

↑ 提案

ワーキング委員会

- (構成)
- ・企画政策課
 - ・都市計画課
 - ・商工観光課
 - ・文化財保護課

↑ 提案

行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりの検討

- ・市全域における行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりの

モデル地区

- ・モデル地区の具体的な施策・事業を検討

↑ 反映

景観まちづくりに関する市民アンケート調査

← 反映

景観まちづくり
ワークショップ
【4回実施】

5. 検討委員会の開催日程及び検討内容

回	開催日程 (上段：ワーキング委員会、 下段：検討委員会)	検討内容
第1回	平成25年10月21日(月)	<計画の策定方針と策定スケジュールの検討> ・計画の策定方針と策定スケジュールの検討 ・市全体のまち並みとにぎわいづくりの特性と課題の検討 <計画書内の関連章：第1章～第3章>
	平成25年11月8日(金)	
第2回	平成25年12月4日(水)	<基本方針とモデル地区の方針と具体施策の検討> ・市全体及び各地域におけるまち並みとにぎわいづくりの方針の検討 ・モデル地区の方針とまち並み形成及びにぎわいづくりに関する具体施策の検討 <計画書内の関連章：第4章～第6章>
	平成25年12月13日(金)	
第3回	平成26年1月第1週	<計画全体の内容の検討> ・事業推進に向けたプログラムと事業の進行管理及び推進体制の検討 ・計画全体の内容の検討 <計画書内の関連章：第7章～第8章>
	平成26年1月10日(金)	
第4回	平成26年2月第3週	<パブリックコメントの結果を踏まえた検討> ・パブリックコメントを踏まえ、計画書全体の内容について検討
	平成26年2月25日(火)	

6. 計画の構成（案）

第1章 はじめに（目的・位置づけ）

第2章 前提条件の整理（上位・関連計画の整理）

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

- ・地域資源の特性
- ・市民意向に関する特性
- ・これまでの取組みの整理
- ・まち並みとにぎわいづくりの課題

第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針

- ・行田らしさを活かしたまちづくりとは
- ・地域資源を核としたまちづくりの方針
- ・行田らしさを活かしたまちづくりの方針
- ・地域資源のつながりに関する方針

第5章 モデル地区の方針

- ・モデル地区の選定
- ・モデル地区におけるワークショップ結果
- ・モデル地区の方針

第6章 モデル地区の具体施策

- ・まち並み形成に関する具体施策
- ・施策展開イメージ
- ・にぎわいづくりに関する具体施策

第7章 事業推進に向けたプログラム

第8章 事業の進行管理と推進体制

(2) 市民アンケート調査結果について [資料③]

1. 調査の目的 (p.1)

- 地域資源や取組の重要度に関する市民意向の把握。
 - 市民の秩父鉄道行田市駅周辺の足袋蔵等が集積するエリアのイメージや取組の重要度の把握。
- ⇒今後の具体的な取組の方向性の参考に。

2. 調査の対象 (p.1)

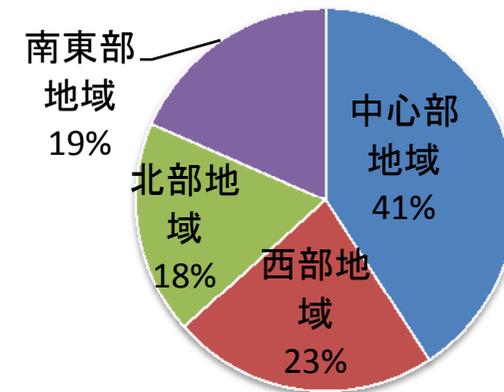
市内に居住する18歳以上の市民1,000人を対象。

ブロック別	中心部 (400)、西部 (200)、北部 (200)、南東部 (200)
年齢別	無作為に抽出
性別	無作為に抽出

3. 配布・回収状況 (p.1)

配布数		回収数	市全体の回収率 (%)	地域別の回収率 (%)
中心部地域	400	137	40.8	34.3
西部地域	200	76	22.6	38.0
北部地域	200	61	18.1	30.5
南東部地域	200	62	18.5	31.0
合計	1,000	336	100	33.6

市全体の回収率 (%)

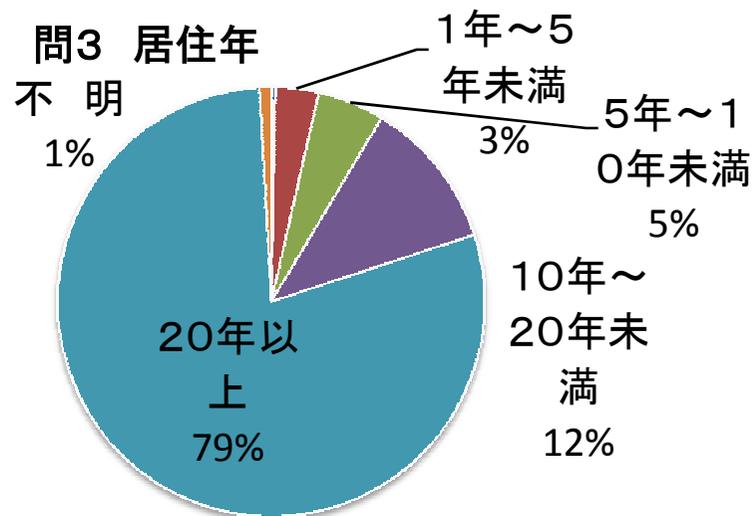
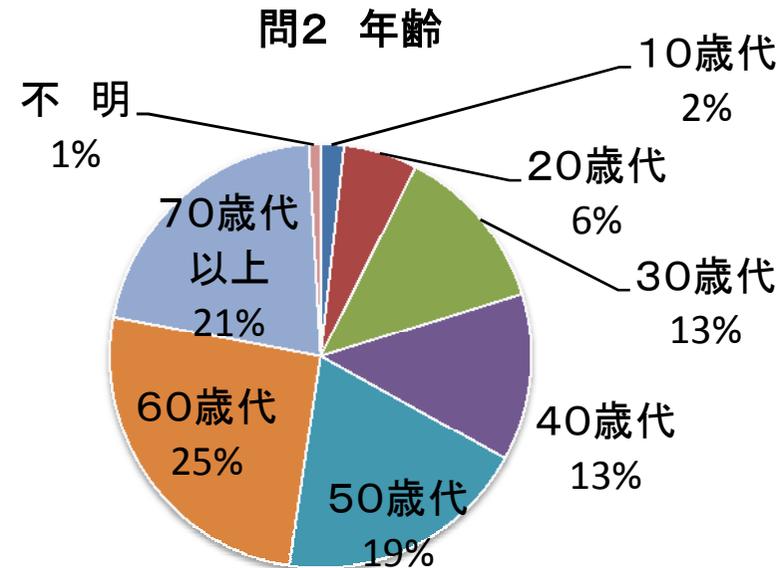
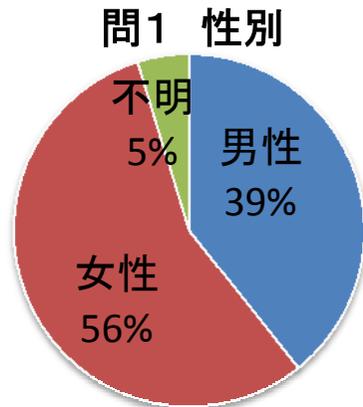


4. 設問内容 (p.2)

- 回答者の属性について
- 地域別景観まちづくりの資源について
- 市全体の景観まちづくりの方向性について
- 秩父鉄道行田市駅周辺の足袋蔵等が集積するエリアについて
(地区の概要及び図面を添付)

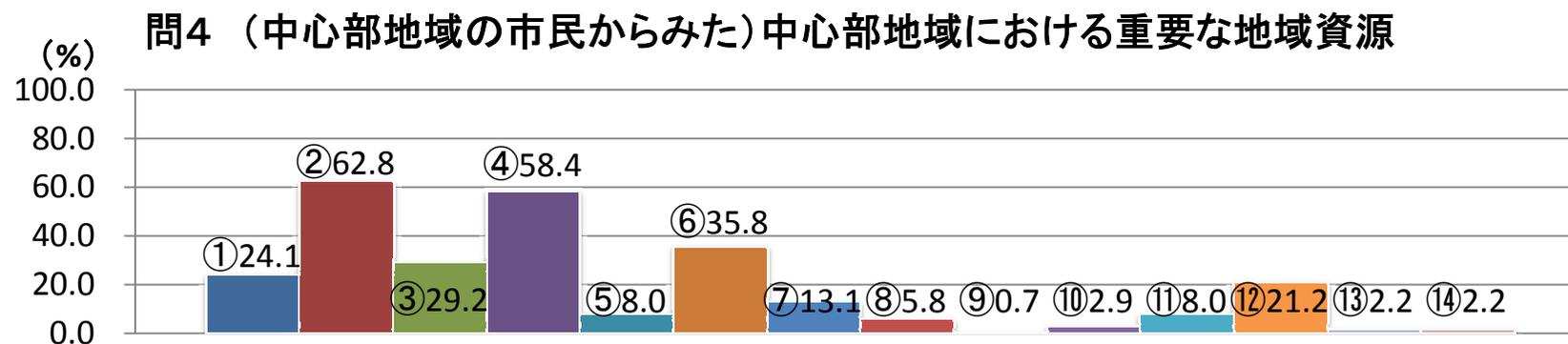
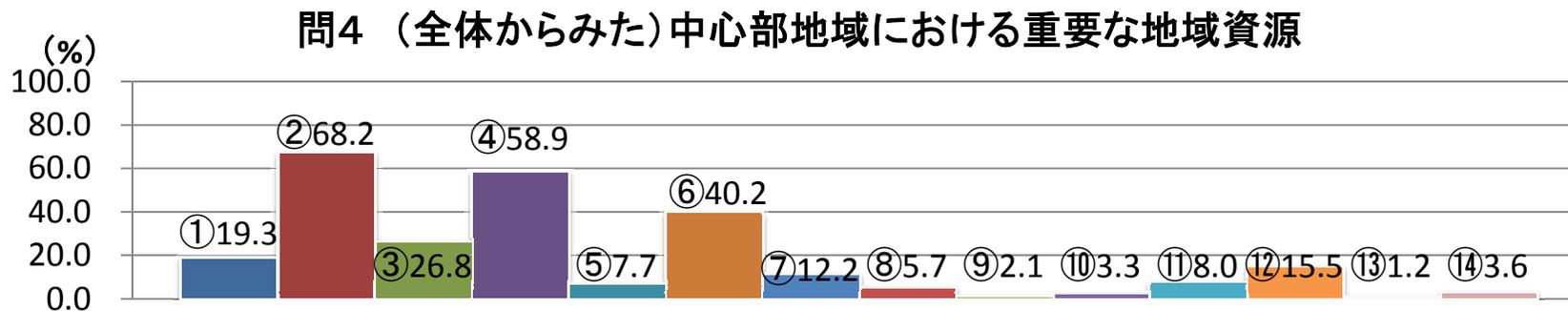
5. 回答結果 (p.4,5)

1. 回答者ご自身について



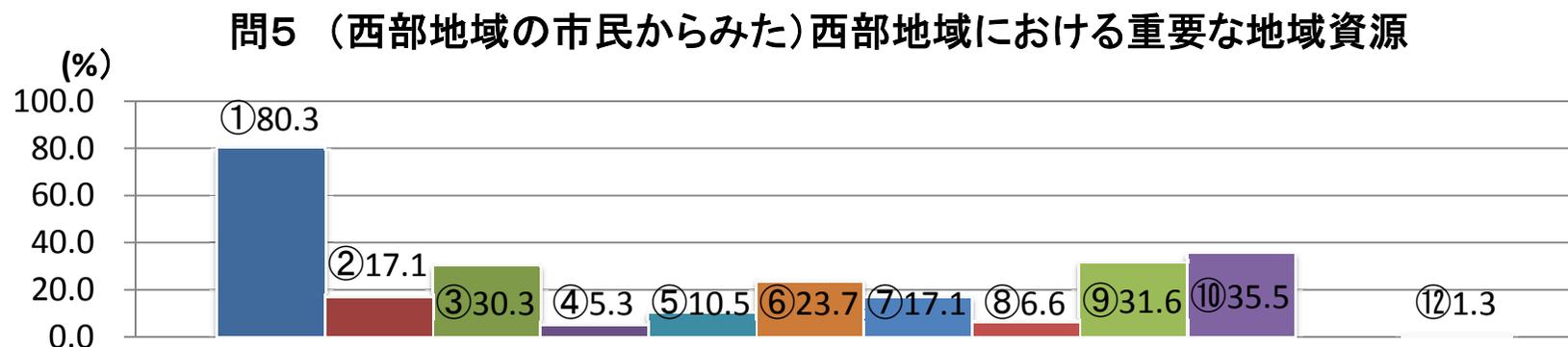
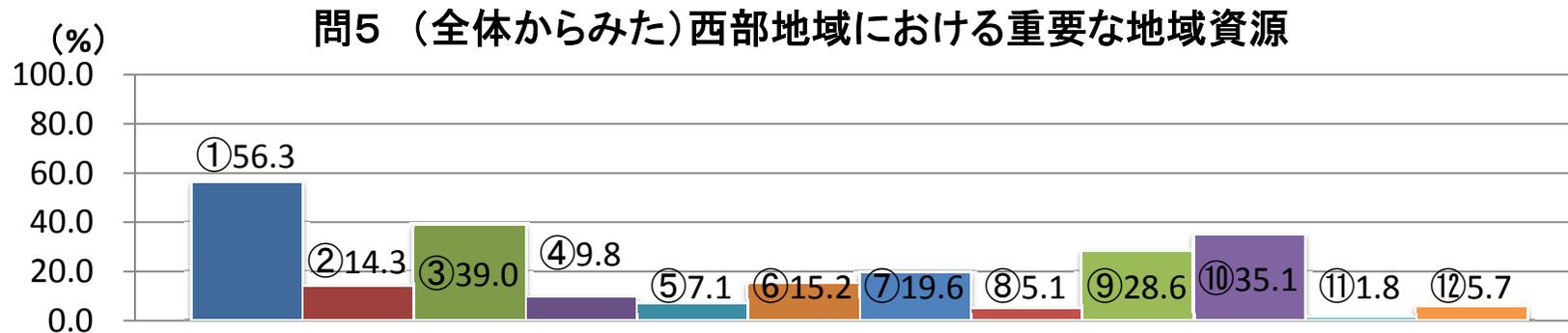
- 問1 : 女性の回答者の割合が高い。
問2 : 50歳代以上の割合が半数以上であり、若者の回答率が低い。
問3 : 20年以上居住している方の回答が8割近くとなっている。

2. 地域別の景観まちづくりの資源について
 【中心部地域における重要な地域資源について】 (p.6,7)



- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ■ ①秩父鉄道行田市駅・東行田駅 | ■ ②忍城址(御三階櫓、郷土博物館など) |
| ■ ③歴史建造物(足袋蔵など) | ■ ④水城公園 |
| ■ ⑤河川・水路(忍川、酒巻導水路など) | ■ ⑥古墳(八幡山古墳、地蔵塚古墳など) |
| ■ ⑦寺社(東照宮、長久寺、清善寺、高源寺、蓮華寺など) | ■ ⑧公共施設(学校、公民館など) |
| ■ ⑨工業団地 | ■ ⑩良好な住宅地 |
| ■ ⑪道路(国道125号など) | ■ ⑫花・緑(桜並木、街路樹など) |
| ■ ⑬その他 | ■ ⑭不明 |

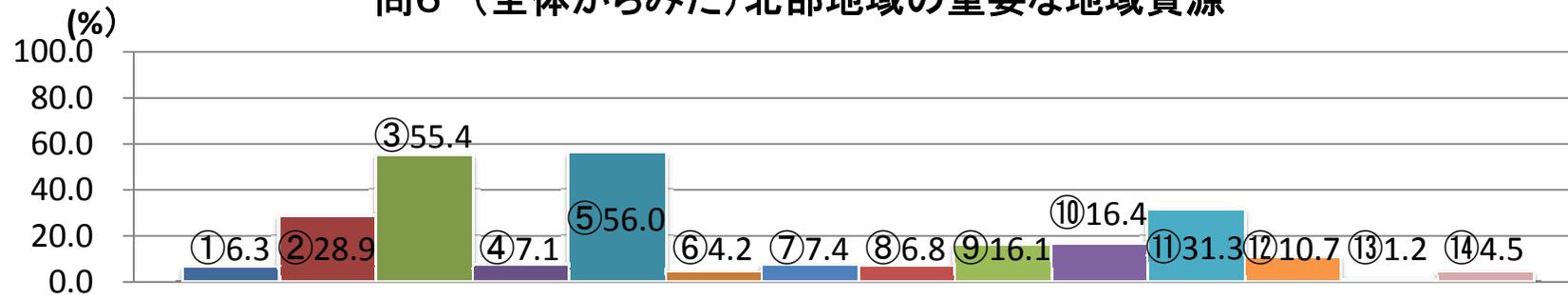
【西部地域における重要な地域資源について】 (p.8,9)



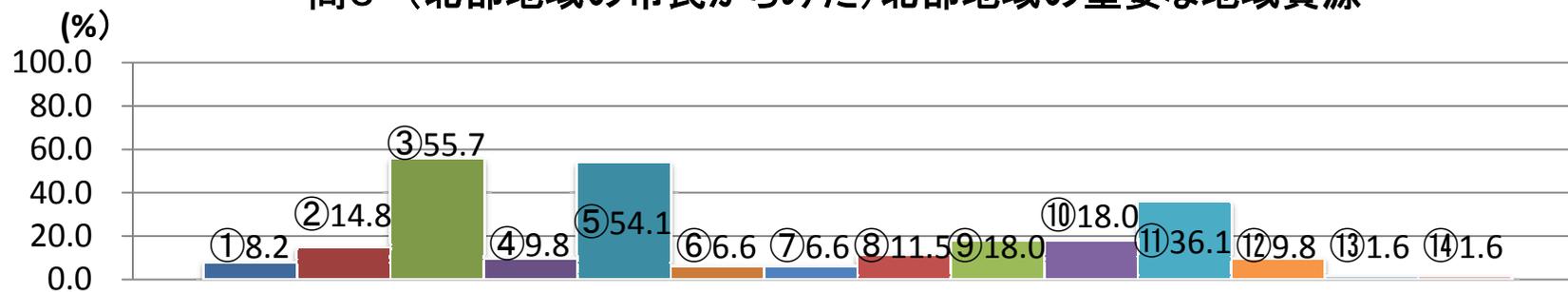
- ① JR行田駅
- ② 秩父鉄道持田駅
- ③ ものづくり大学
- ④ 城西交差点ポケットパーク
- ⑤ 公共施設(学校、公民館など)
- ⑥ 良好な住宅地
- ⑦ 寺社(阿弥陀寺、正覚寺、常慶寺、桃林寺、光明寺など)
- ⑧ 上越新幹線
- ⑨ 道路(国道17号熊谷バイパス、国道17号など)
- ⑩ 花・緑(公園、田園風景、街路樹など)
- ⑪ その他
- ⑫ 不明

【北部地域における重要な地域資源について】 (p.10,11)

問6 (全体からみた)北部地域の重要な地域資源



問6 (北部地域の市民からみた)北部地域の重要な地域資源



- ①秩父鉄道武州荒木駅
- ②武蔵水路
- ③利根川・利根大堰・福川・中条提
- ④見沼元圀公園・見沼公園
- ⑤行田市総合公園(グリーンアリーナなど)
- ⑥公共施設(学校・公民館など)
- ⑦ゆとりある住宅地(古民家など)
- ⑧寺社(天州寺、興徳寺など)
- ⑨史跡(小見真観寺古墳、南河原石塔婆など)
- ⑩道路(国道125号行田バイパス、北進道路など)
- ⑪花・緑(武蔵水路沿いの桜、田園風景、屋敷林など)
- ⑫祭り、民俗行事
- ⑬その他
- ⑭不明

【南東部地域における重要な地域資源について】 (p.12,13)

問7 (全体からみた)南東部地域における重要な地域資源



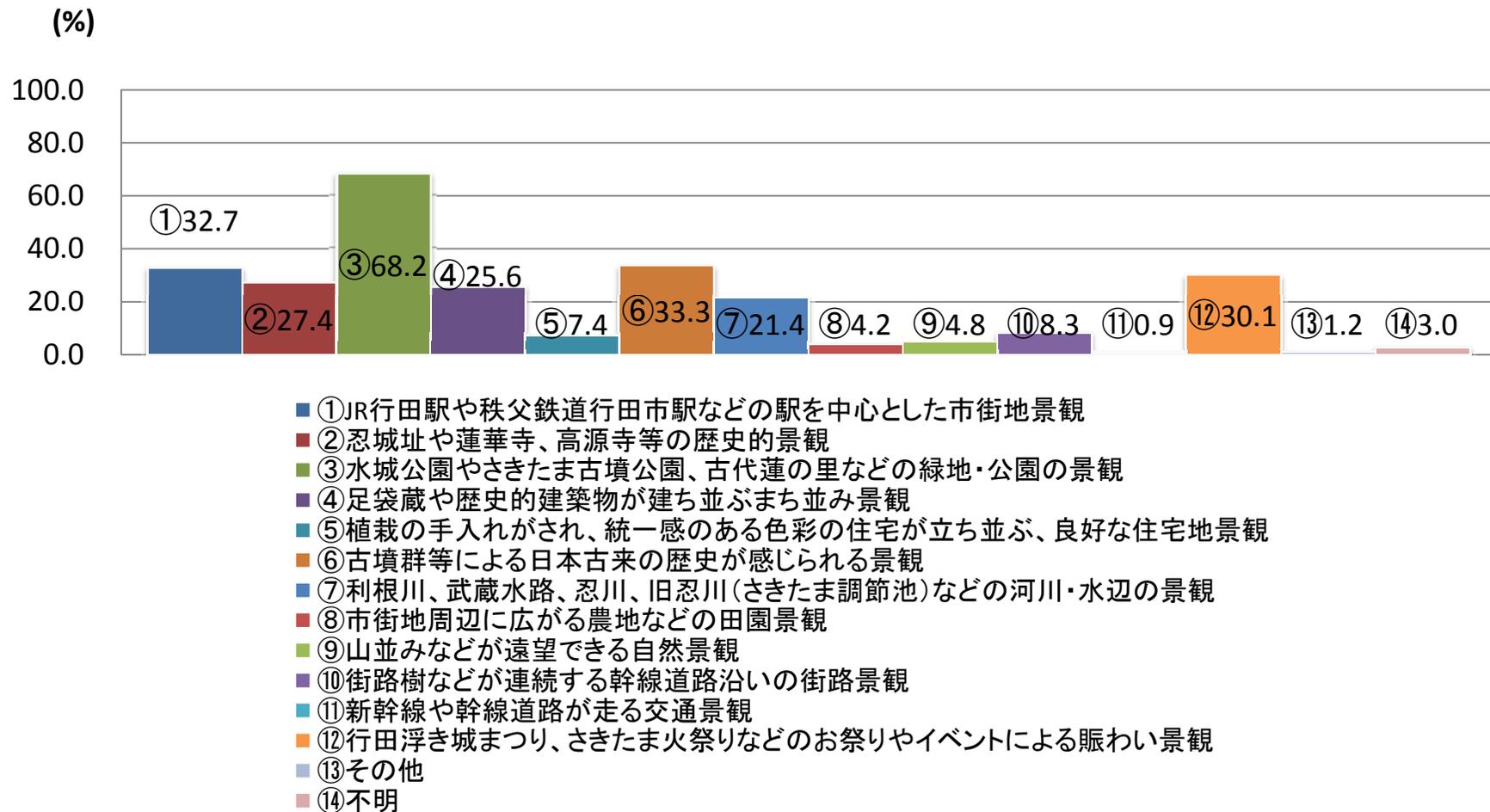
問7 (南東部地域の市民からみた)南東部地域における重要な地域資源



- ①さきたま古墳公園
- ②古代蓮の里
- ③さきたま緑道・花の里緑道
- ④河川・水路(忍川、旧忍川(さきたま調節池)、武蔵水路、見沼代用水など)
- ⑤公共施設(学校・公民館など)
- ⑥ゆとりある住宅地(古民家など)
- ⑦寺社(前玉神社、久伊豆神社、勝呂神社、成就院など)
- ⑧史跡・旧跡(石田堤、真名板高山古墳、小埼沼など)
- ⑨道路(国道17号熊谷バイパス、県道行田蓮田線など)
- ⑩花・緑(桜並木、田園風景、屋敷林など)
- ⑪祭り・民俗行事
- ⑫その他
- ⑬不明

3. 市全体の景観まちづくりの方向性について
【行田らしい景観まちづくりの方向性で重要な取組み】 (p.14,16)

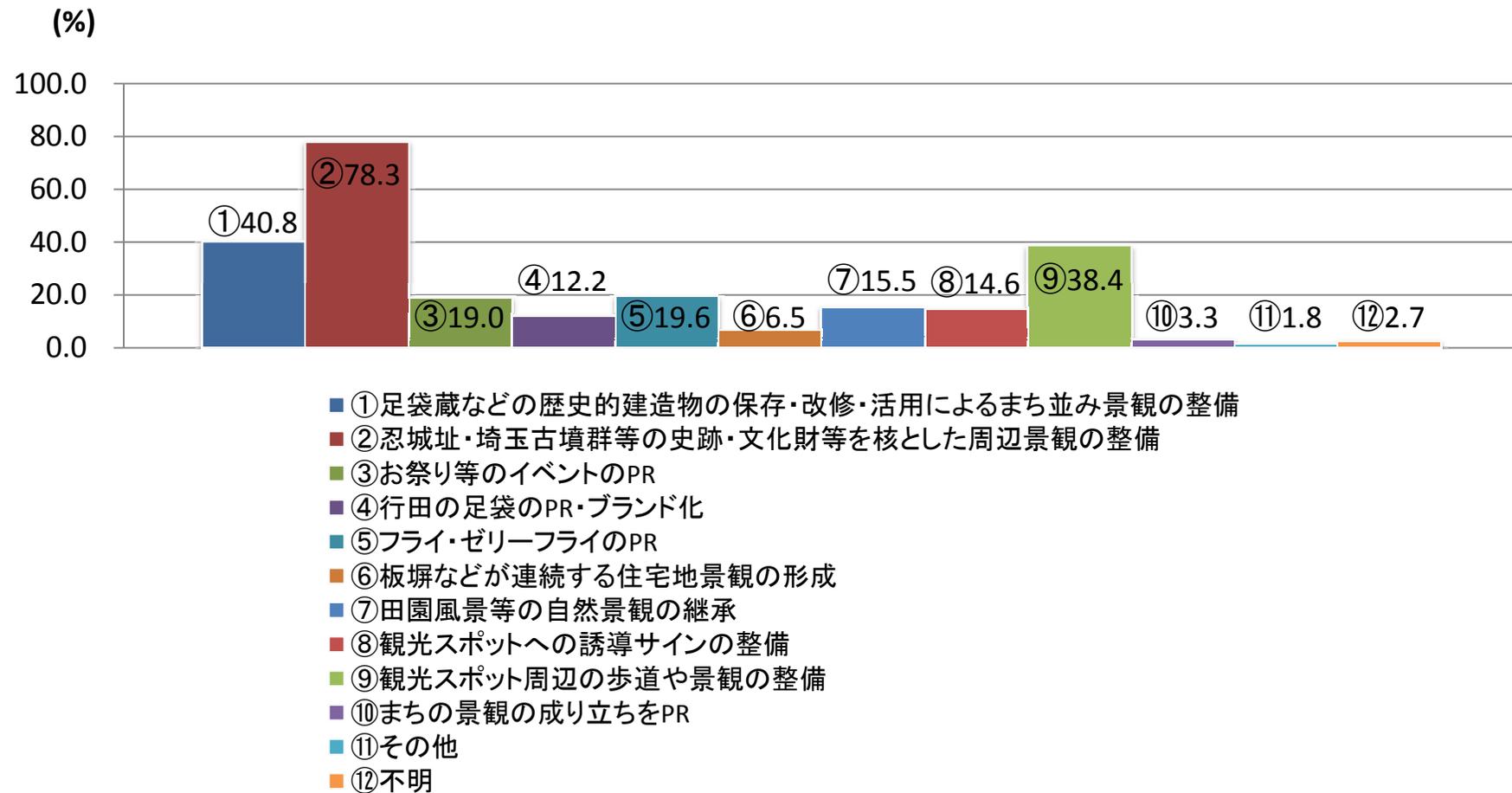
問8 行田らしい景観まちづくりの方向性で重要な取組み



3. 市全体の景観まちづくりの方向性について

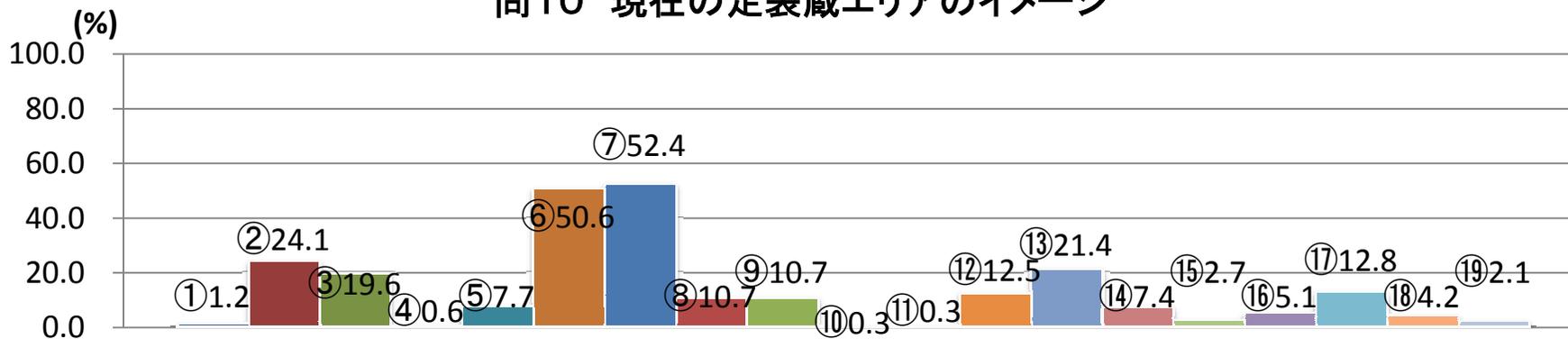
【「歴史・文化」に関する景観まちづくりの方向性で重要な取組み】 (p.15,16)

問9 「歴史・文化」に関する景観まちづくりの方向性で重要な取組み

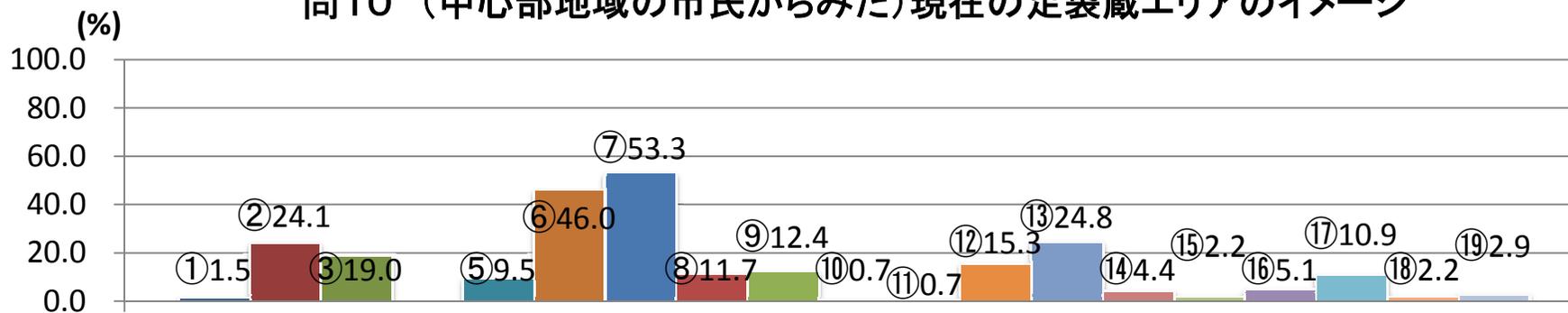


4. 秩父鉄道行田市駅周辺の足袋蔵が集積するエリアについて
【現在の足袋蔵エリアのイメージ】 (p.17~20)

問10 現在の足袋蔵エリアのイメージ

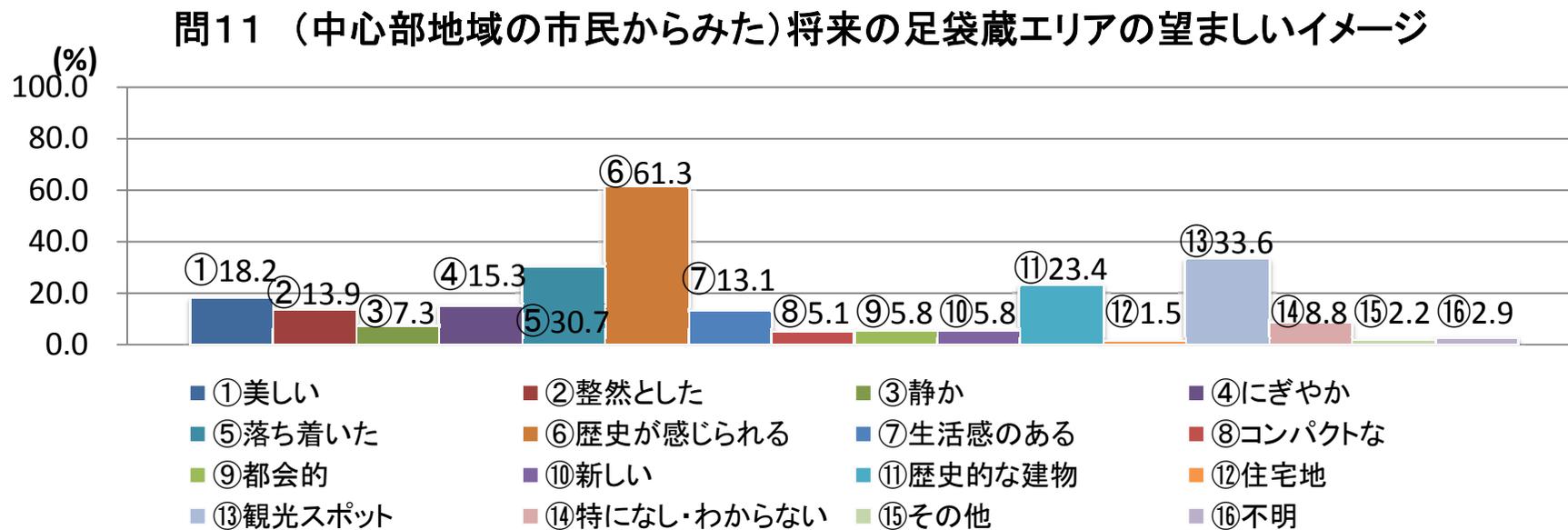
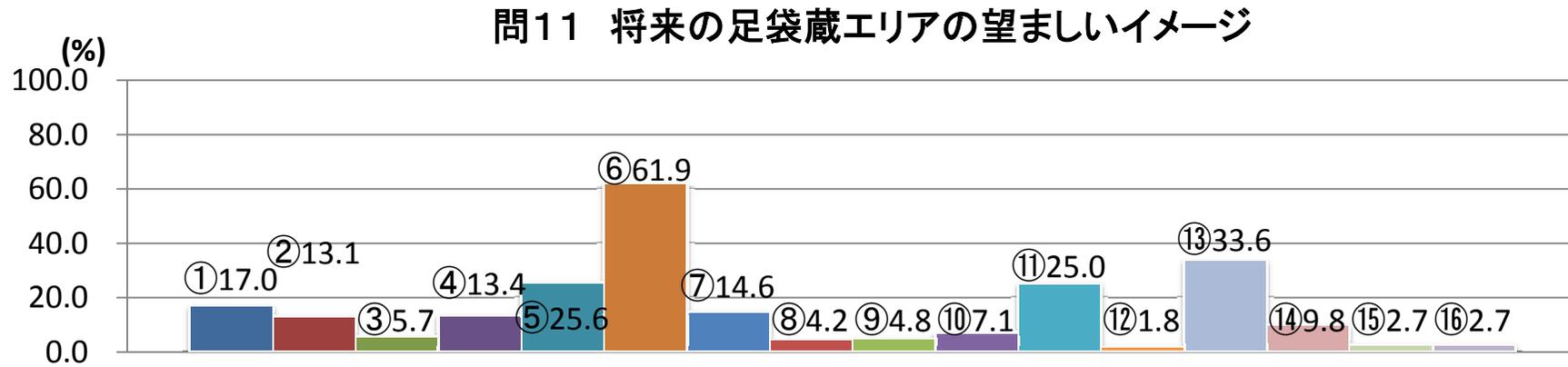


問10 (中心部地域の市民からみた)現在の足袋蔵エリアのイメージ



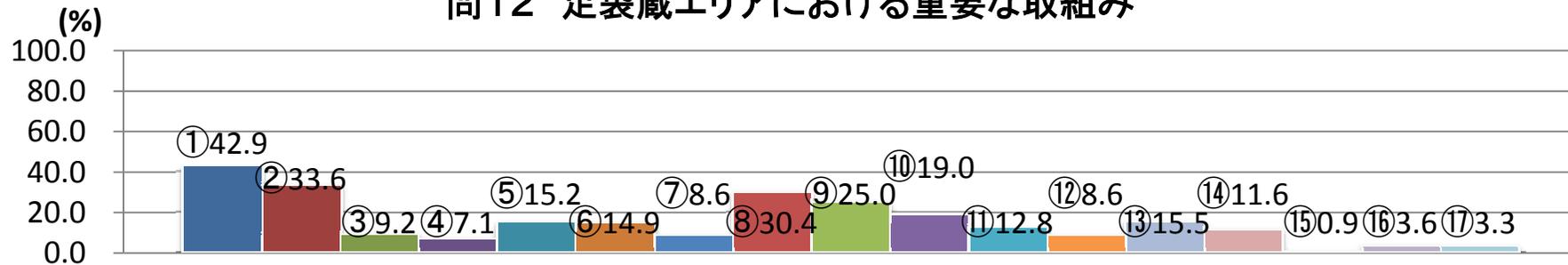
- ①美しい
- ②雑然とした
- ③静か
- ④にぎやか
- ⑤落ち着いた
- ⑥さびれた
- ⑦さみしい
- ⑧時代遅れ
- ⑨古い
- ⑩新しい
- ⑪寺
- ⑫蔵
- ⑬歴史的な建物
- ⑭商店
- ⑮住宅地
- ⑯観光スポット
- ⑰特になし・わからない
- ⑱その他
- 不明

【将来の足袋蔵エリアの望ましいイメージ】 (p.21~24)

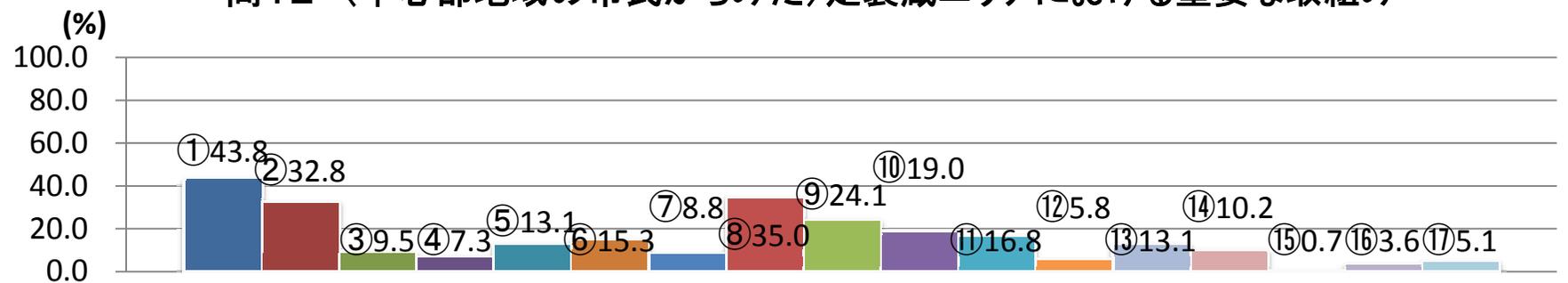


【足袋蔵エリアにおける重要な取組み】 (p.25~28)

問12 足袋蔵エリアにおける重要な取組み



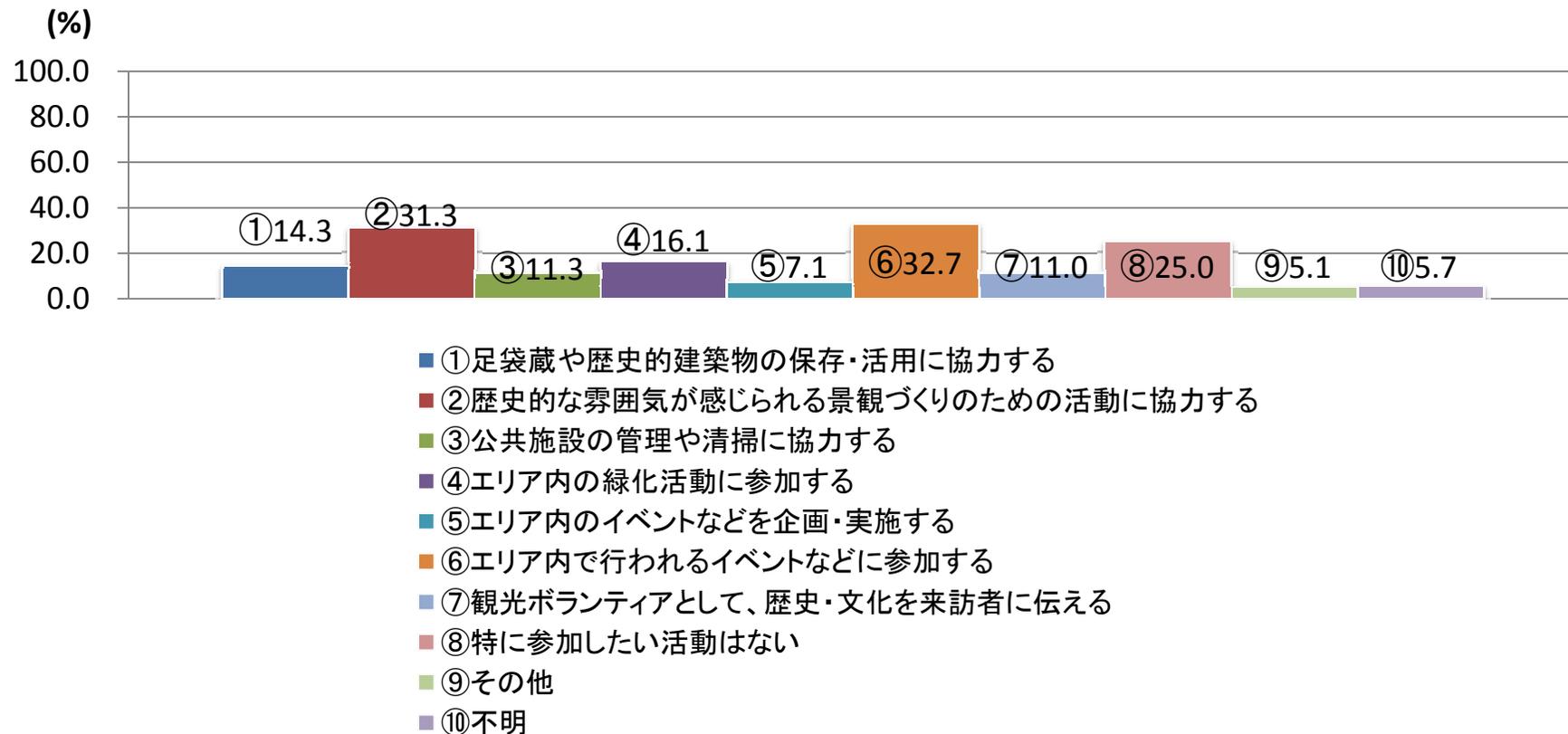
問12 (中心部地域の市民からみた)足袋蔵エリアにおける重要な取組み



- ①足袋蔵などの歴史的建築物の保存・改修・活用によるまち並み景観の整備
- ②エリア内の歴史・文化的資源を核とした周辺景観の整備
- ③藍染などの体験交流の推進
- ④フライ・ゼリーフライのPR
- ⑤エリアのPR・観光情報の発信
- ⑥石畳舗装等のおもむきのある環境整備
- ⑦エリアへの案内標識・サインの整備
- ⑧建物や屋根、塀等の外観に景観的配慮がなされた、行田らしいまち並みの整備
- ⑨駐車場や空地の整備・活用
- ⑩空き店舗等を活用した休憩・授乳等ができる施設の整備
- ⑪イベントの実施による、にぎわいの創出
- ⑫まちの成り立ち・歴史・特徴等を研究してPR
- ⑬公共施設や病院、福祉施設などの集積に向けた取組み
- ⑭大規模な商業施設の集積に向けた取組み
- ⑮ビルやマンションの立地誘導
- ⑯その他
- ⑰不明

【足袋蔵エリアでの参加したい活動】 (p.29,30)

問13 足袋蔵エリアでの参加したい活動



【自由記述概要】 (p.31~44)

テーマ	件数 (件)	主な意見
○景観について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 ・ 3 ・ 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水城公園、JR行田駅・秩父鉄道行田市駅周辺、国道沿いの景観整備の必要。 ・ 城下町を意識した景観整備の必要。 ・ 景観の整備のために、行政と民間の力を活用し、協働で取り組んでいくべき。
○にぎわいについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13 ・ 12 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の活気が減少しているため、イベントの開催や空き店舗の活用、商店の充実を図るなど、にぎわいの創出に向けた取組みの必要。 ・ JR行田駅・秩父鉄道行田市駅周辺のにぎわいを創出する必要。
○観光について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19 ・ 4 ・ 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光案内所、宿泊施設、飲食店、土産物店の整備やイベントの開催、休憩所やトイレ、観光場所へのサインなどの整備を行うなど、来訪者へのおもてなしの充実を図る必要があるという意見が多い。 ・ 点在する観光資源同士のつながりをつくり、歩ける街、歩いて楽しい街になってほしい。 ・ 忍城址周辺を観光拠点として整備する必要があるという意見があがっている。
○足袋蔵について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7 ・ 3 ・ 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の歴史的建築物である足袋蔵の存在を周知するために、PRの必要。 ・ 歴史的建築物の保存・修復・活用の必要。 ・ 足袋蔵や行田市駅周辺の足袋蔵エリアに着目する事への疑問。
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 58 ・ 11 ・ 4 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市へのまちづくりに関する提案。 ・ 街路樹、公園、緑化などの緑や花の環境整備の必要。 ・ 市内のバス路線網、道路や歩道などの整備の必要。

(3) まち並みとにぎわいづくりに関する特性と課題について [資料④]

【計画書第2章、第3章関連】

1. 上位・関連計画の整理 (p.1~9)

- 第5次行田市総合振興計画 (H23.3)
- 行田市都市計画マスタープラン (H25.3)
- 行田市景観計画 (H11.3)
- 行田地域の足袋蔵等の保全・活用のための調査と提案報告書 (H24.3)

2. まち並みとにぎわいづくりの特性と課題 (p.10~16)

(1) 地域資源の特性

- ①歴史・文化的資源の特性
- ②自然資源の特性
- ③生活・産業資源の特性

(2) 市民主体のまちづくり活動 (団体ヒアリング結果)

(3) 計画体系

2. まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

(1) 地域資源の特性

① 歴史・文化的資源の特性 (p.10~12)

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| ・ 足袋蔵 | ・ 歴史的建築物 | ・ 忍城址 |
| ・ 埼玉古墳群 | ・ 石田堤 | ・ 史跡、旧跡 |
| ・ 寺社 | ・ 祭り、民俗行事 | |

歴史・文化的資源の特性

- 古代から近世までのあらゆる時代の歴史・文化的資源が、市全域に分布。
- 埼玉古墳群など古代の様相がうかがえる歴史的資源があり、観光資源としてのにぎわいと地域の自然景観の要素となっている。
- 忍城を中心に、中世の歴史的資源が中心部の随所に残っており、市を代表する景観資源となっている。
- 秩父鉄道行田市駅周辺には、近世における足袋蔵などの文化的資源が集積しており、行田らしいまち並みを形成する重要な要素となっている。

②自然資源の特性 (p.13,14)

- | | | |
|---------|--------|---------|
| ・ 田園 | ・ 利根川 | ・ 河川、水路 |
| ・ 古代蓮の里 | ・ 水城公園 | ・ 屋敷林 |

自然資源の特性

- 季節ごとに移ろう田園風景が、市全域に広がり、市の象徴的な自然風景である。
- 高低差のない平らな地形であり、周辺を連なる山々が望める。
- 田園風景や周辺の山々は、市内の景観の背景となる重要な要素であり、市の骨格となる景観資源となっている。
- 市全域を巡っている河川や水路は、地域の身近な水辺空間となっている。
- 古代蓮の里や水城公園は、観光のにぎわいの拠点であるとともに、四季折々の変化が愉しめる場となっている。
- 農村集落地の住宅の屋敷林は、防災的な役割とともに、農村集落の特徴的なまち並みを形成する要素となっている。

②生活・産業資源の特性 (p.15,16)

- | | | |
|-------|------|-------|
| ・住宅地 | ・商業地 | ・公共施設 |
| ・工業団地 | ・道路 | ・鉄道 |

生活・産業資源の特性

- 中心市街地では、新旧の住宅が混在する住宅地が形成され、西部地域では、宅地開発による新興住宅地が形成されており、地域のまち並みに合った緑豊かな落ち着いたある住宅地の景観が求められる。
- 市内に分布する公共施設や工業団地などの施設は、地域のまち並み形成に大きく寄与する重要な要素。
- 主要幹線道路沿道は、街路樹等の緑化による統一的な沿道景観が形成されている一方、沿道施設の広告看板等は景観阻害要因となっている。
- 各鉄道駅は地域の拠点となる要素であり、特に秩父鉄道行田市駅やJR行田市駅は、市の顔としてにぎわいの拠点となる重要な要素。

(2) 市民主体のまちづくり活動（団体ヒアリング結果）（p.17～27）

① 団体ヒアリングの対象とまとめ

分野	団体名	
まちづくり	特定非営利活動法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク	特定非営利活動法人 忠次郎蔵
	特定非営利活動法人 街づくり会社・白壁	行田市商店会連合会
学術・文化・芸術・スポーツ	行田郷土史研究会2012	忍の行田の昔ばなし語り部の会
	よろいを着ようボランティア	Seed（シード）
その他	行田観光ボランティア会	フライ・ゼリーフライ友の会

—特性のまとめ—

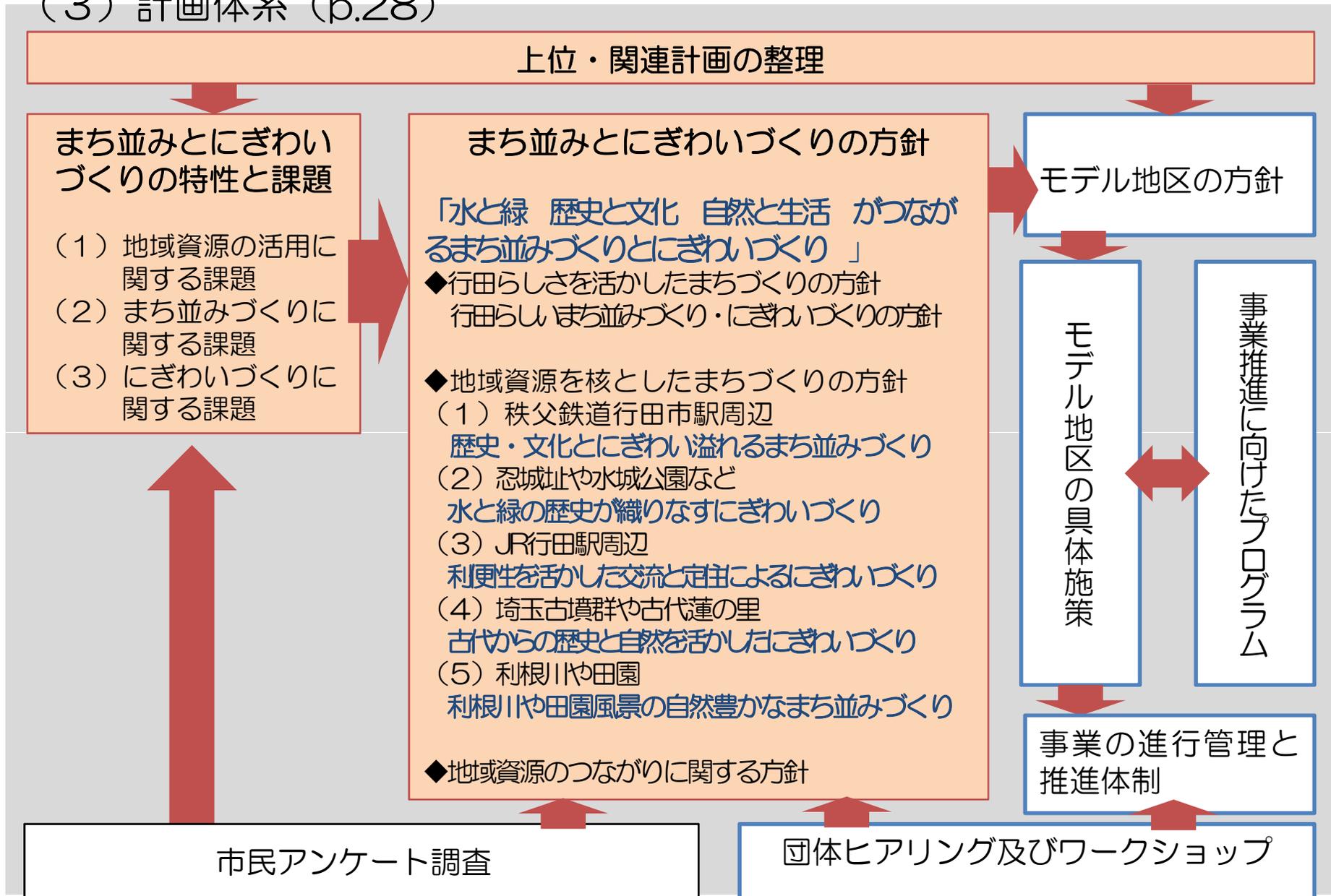
- ・ 行田市駅周辺の歴史的建築物を活用したまちづくり活動が活発に行われている。
- ・ 研究活動や発表活動を通じて、行田市の歴史や文化を継承している。
- ・ 観光案内活動や博物館においては、観光客をおもてなす活動が行われている。
- ・ B級グルメのイベントや、そば打ち体験教室を通じて、行田市の食をPRしている。

② 実施概要

実施方法：主に直接訪問により活動内容、問題点・課題などに関して意見交換。

実施期間：平成25年10月1日（火）、3日（木）、4日（金）

(3) 計画体系 (p.28)



(4) 景観まちづくりワークショップの概要について [資料⑤]

1. 景観まちづくりワークショップの目的 (p.1)

まち並みづくりとにぎわいづくりをテーマとし、市民意識の醸成と今後のまちづくり方策について検討を行う。

2. ワークショップの開催日程 (p.1)

回	日時	内容
第1回	平成25年10月19日(土) 14時~17時	みんなで足袋蔵が集積するエリアを歩いてみて、エリアの魅力と問題点を出し合おう!
第2回	平成25年11月2日(土) 14時~16時	「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」のテーマについて、具体的な提案を考えよう!①
第3回	平成25年11月16日(土) 14時~16時	「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」のテーマについて、具体的な提案を考えよう!②
第4回	平成25年11月30日(土) 14時~16時	エリアのまち並みづくり、にぎわいづくりの実現に向けた取組みについて考えよう!

3. ワークショップ参加者の構成 (p.1)

地域住民(行田地区及び忍地区の一部の自治会)、市内の各団体、市民大学、ものづくり大学、芝浦工業大学

4. ワークショップの流れ (p.2)

【第1回 (全体会)】

- 景観まちづくりとは (まち並みづくり、にぎわいづくり)
- ワークショップの進め方
- 対象エリアのまちあるきの実施
- エリアの魅力と問題点のマップづくり
- 検討テーマのグループ分け

まち並みづくり

【第2～3回】

- 行田らしいまち並みづくりに向けた取組みの提案
- 保全すべき建築物の活用方法の提案

にぎわいづくり

【第2～3回】

- 商業や観光のにぎわいづくりに向けた取組みの提案
- 回遊ルートづくりの提案

【第4回 (全体会)】

- まち並み形成・にぎわいづくりの実現に向けた役割分担
- 取組みの優先度の提案

【活用事業・制度】

- ふるさとづくり事業
- 歴史的環境整備
- 景観計画重点地区届出制度など

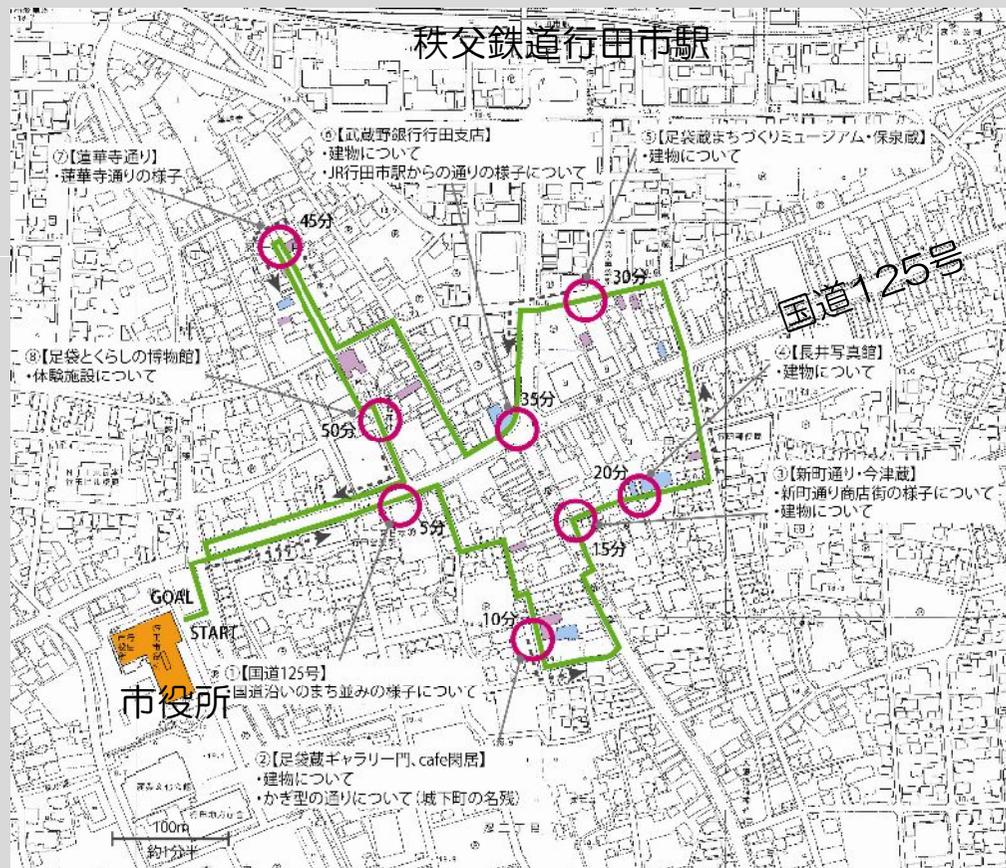
【活用事業・制度】

- ふるさとづくり事業
- 都市再生整備計画事業
- 文化庁、総務省等のモデル事業など

■第1回景観まちづくりワークショップまとめ (p.3)

開催日：10月19日（土）

概要：対象エリアのまち歩きを実施し、その後、グループに分かれ対象エリアの魅力と問題点を出し合い、意識の共有と意見交換を行った。



■ワークショップ参加者の方々から頂いたご意見の概要 (p.4)

◆まち並みについて

- ・ 様々な時代の建物が混在するまち並みである。
- ・ 魅力的な路地が沢山ある。
- ・ 蓮華寺通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- ・ 国道125号の童・銅人形が景観的に良い。
- ・ 空き家や空地が目立ち、古い建物が壊れている所があり、景観的に悪印象である。
- ・ 商店街のアーケードによって、建物の外観が見えない。

◆にぎわい・観光について

- ・ 忍城址や歴史的建築物など観光資源は沢山ある。
- ・ 点在する観光資源をつなげることが大事である。
- ・ 観光資源への案内板や観光ルートの整備を図るべきである。
- ・ 休憩場所、飲食店、土産物店、宿泊施設、駐車場が少ない。
- ・ 商店街がシャッター街となっており、寂しい印象である。

◆歴史的建築物について

- ・ 歴史あるまち並みや建物が残っており、重要な地域資源である。
- ・ 観光に活かせるよう保存・活用や情報発信が必要である。
- ・ 歴史的建築物の案内表示がなく、建物がある場所がわからない。
- ・ 看板やアーケードによって歴史的建築物の外観が隠れており、もったいない。
- ・ 資源同士のつながりが無い。

■今後の取組み

【今年度の取組み】

- ・ 1回から4回のワークショップを通じて、行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりに何が必要かを、みんなで考える。



【来年度の取組み】

- ・ 定期的に集まる機会を設け、皆様とのつながりを継続していく。
- ・ 計画の実現に向けて、継続的に皆様との検討機会を設ける。